

比の日系2世亡父の故郷へ

熊本で親族と対面

戦前にフィリピンに渡った熊本県甲佐町出身の男性と現地の女性との間に生まれた残留日系人2世の本田タビッドさん(67)が7日、熊本空港に到着した。タビッドさんの父寅雄さん(故人)の親族18人が横断幕で出迎え、ともに涙を浮かべて抱き合った。

記者会見でタビッドさんは「こんな幸せなことが起きるとは思わなかった。フィリピンで日本人に捨てられた子と言われた。そつでないことが今分かった」と話し、異母弟の本田孝明さん(64)は「ずっと会いたいと話していた」父の念願がか



熊本空港で父寅雄さんの親族と抱き合っ喜び本田タビッドさん＝7日午後4時すぎ(撮影・長浜幸治)

なつたと思う」と言葉を詰まらせた。タビッドさんは10日まで日本に滞在し、甲佐町で寅雄さんの墓参りをする。タビッドさんは、1945年敗戦後は米軍捕虜になり

46年に日本に強制送還された。タビッドさんは残され、母親の女性は戦後まもなく病死した。2009年、残留日系人の支援団体などの調査で、タビッドさんと寅雄さんが親子と判明した。(宮下雅太郎)